2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	聴解・聴読解(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	中村　絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			

《授業科目における学習内容》

①日本語の音声に慣れる。
②様々な場面の聞き取りを通し、基礎語彙を増やし、中級文法を復習する。
③日常会話の様々な場面でコミュニケーションが取れるように必要な聴解力を身につける。

《成績評価の方法と基準》

1. 試験:70%
2. 出席:20%
3. 平常点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:『みんなの日本語Ⅰ』、『みんなの日本語Ⅱ』、『みんなの日本語　聴解タスク25　I』、『みんなの日本語　聴解タスク　II』、『日本語総まとめN3聴解』、『新完全マスターN3聴解』、『毎日の聞き取り初級』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業で学んだ語彙を復習してください。授業で聞き取れなかった問題は授業の後でわかるまで何度も聞くようにしましょう。

《履修に当たっての留意点》

仕事やコミュニケ^ションをする時、文字がなくても聞いてわかるようになることが大切です。そのためには、日本語を聞く「耳」を作っていきましょう。しっかり文法と言葉を覚えましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション 短い会話を聞き、必要な情報を読み取り、説明できる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	『みんなの日本語　聴解タスク25　I』 第1課～第5課		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	短い会話を聞き、5W1Hの内容や、形容詞文の聞き取りができる。 どうして、～殻についての内容を説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	動詞、形容詞、～から(理由)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	短い会話を聞き、助数詞を使った文や、て形を使った順序、今していることについて聞き取ることができる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	助数詞、て形		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	動詞辞書形、た形の文系について聞き取ることができる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	辞書形、た形		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	普通体で話されている会話が聞けるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	普通形 N4 ポイント理解		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	時間の関係や順序関係、物事の関係を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	～時、～と、～たら、～ても N4　課題理解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	理由の説明やできること、出来ないことを理解し説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	～んです、可能動詞 N4　発話表現		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	物の描写を聞き、どのような状況下を理解し、説明することができる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	自動詞・他動詞 N4　即時応答		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	予定や将来の展望を聞き、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	意向形、意向形＋と思っています、つもりだ、予定だ、後で N4		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な場面の会話やアナウンス等を聞いて、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	～ように、～ようになる、～ようにする、～ようにしている N4		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去の出来事を理解し、説明することができるようになる。 ある状況の推測や様子を聞き理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	受身、～そうだ、～ようだ、～場合 N4		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	敬語を使った会話を聞き、それぞれの立場を理解し、話している内容を説明できるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	敬語 N4		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	発音や文法を意識し、状況を把握し説明できるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3（発音、文法、会話表現について）		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を学び、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3（発話表現）		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を学び、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習 わからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3（即時応答）		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	日本語学科(昼間部1．5年制)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	聴解・聴読解(中級)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	中村　絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。		

《授業科目における学習内容》

①日本語の音声に慣れる。
②様々な場面の聞き取りを通し、基礎語彙を増やし、中級文法を復習する。
③日常会話の様々な場面でコミュニケーションが取れるように必要な聴解力を身につける。

《成績評価の方法と基準》

1. 試験:70%
2. 出席:20%
3. 平常点:10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材:『みんなの日本語Ⅰ』、『みんなの日本語Ⅱ』、『みんなの日本語　聴解タスク25　I』、『みんなの日本語　聴解タスク　II』、『日本語総まとめN3聴解』、『新完全マスターN3聴解』、『毎日の聞き取り初級』から抜粋、オリジナルハンドアウト使用。

《授業外における学習方法》

授業で学んだ語彙を復習してください。授業で聞き取れなかった問題は授業の後でわかるまで何度も聞くようにしましょう。

《履修に当たっての留意点》

仕事やコミュニケ^ションをする時、文字がなくても聞いてわかるようになることが大切です。そのためには、日本語を聞く「耳」を作っていきましょう。しっかり文法と言葉を覚えましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を学び、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習とわからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3(第2章:課題理解)、毎日の聞き取りL4		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を学び、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習とわからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3(第2章:ポイント理解)、毎日の聞き取りL5		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を学び、要点を理解し、説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習とわからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3(第2章:概要理解)、毎日の聞き取りL6		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な状況での会話を聞き、要点を理解し説明することができるようになる。	使用教材から適宜抜粋	語彙の復習とわからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	N3(第3章:町中の会話、天気予報、学校での会話、職場、公共施設での会話)、毎日の聞き取りL7		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに習った文法を理解し、様々な会話やアナウンスを聞き取り理解できるようになる。	ハンドアウト	語彙の復習とわからなかった問題の聞き直し
		各コマにおける授業予定	総まとめ		